






安全上の注意










※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使い下さい。ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

	危険	人が死亡または、重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。	
	警告	人が死亡または、重傷などを負う可能性が想定される内容です。	
	注意	人が損傷を負う可能性及び物的損傷の発生が想定される内容です。	
	この記号はしてはいけない「禁止」の内容です。		この記号は必ず守っていただく「実行」の内容です。

警告

	改造・分解は絶対にしないで下さい。 故障や異常動作を引き起こし、けがや事故の原因となります。
	本製品は水中専用です。必ず本体を全部水没させ、垂直に立ててご使用ください。空中等でポンプを 작동させると、モーター部に負荷がかかり高温になり、故障や怪我の原因となる恐れがあります。(垂直とは P3「各部名称と仕様」の図の状態をさします。)
	電源プラグは奥までしっかりと接続されていることを確認して下さい。 防水性能を発揮できず、漏電・感電等の恐れがあります。
	濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。 感電の原因となります。
	人や生き物が入っているところでは使用しないで下さい。 感電の原因となります。別な容器に水を溜めるなど、生き物が入っている容器とポンプは分けて使用して下さい。
	定格 10A 以上のコンセントを単独で使用して下さい。また、延長コードを使用される場合は、必ず芯線 1.25mm ² 以上、長さ、15m 以内にして下さい。 電源コードは途中で接続したり、タコ足配線をした場合には感電や発熱・火災の原因となります。また、他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	ポンプに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転して下さい。
	使用後は必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 その際、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いて下さい。感電・ショート・発火の原因となります。
	電源プラグの周囲にほこりが付いていないかどうか定期的に確認して下さい。 ほこりの付着は火災の原因となります。

使用後の注意

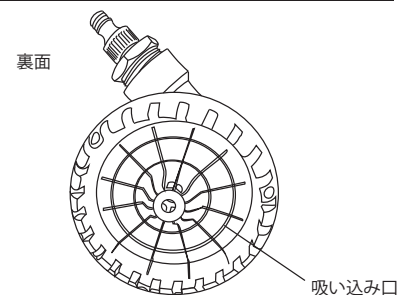
1. 使用後は必ずスイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて、ポンプを水中から引き上げて下さい。絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。
2. 長期間保管される時は、きれいな水の中で運転して内部洗浄を十分に行った上で内部を完全に乾燥させてから保管するようにして下さい。


保守・点検

吸い込み口にゴミが詰まると吐出量の低下やポンプ寿命に悪影響を及ぼします。

使用後は吸い込み口の清掃を行って下さい。

※注意 ポンプの点検を行う際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。




	注意	使用後は吸い込み口付近をきれいに水洗いして下さい。
---	-----------	---------------------------

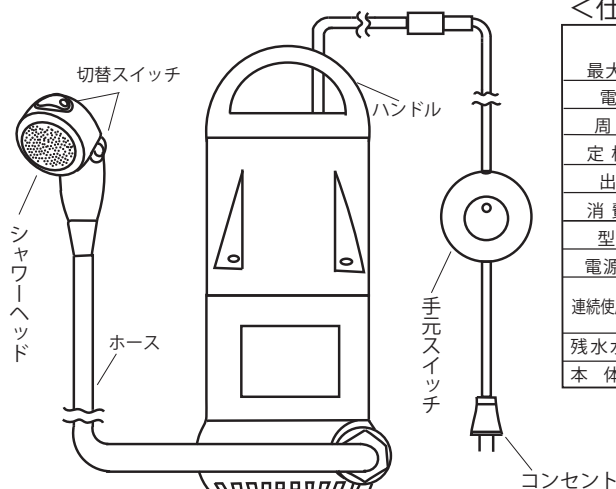
	注意	分解は絶対に行わないで下さい。
---	-----------	-----------------

故障と処置

症状	考えられる原因	処置	
ポンプが回らない	電源が入っていない	電源を入れる	
	電源が入っている	電源コードの断線もしくは接触不良	点検・修理
		電圧の低下	延長コードの確認
		異物混入によるインペラのロック	弊社にて修理
	モーター内への浸水	弊社にて修理	
ポンプが運転中に停止する	ポンプ部に空気が溜まっている	水中で横倒し（復旧方法 P5）	
	安全装置が働いている（サーマルプロテクター）	配管・ポンプを再点検し過負荷の除去	
	異物混入によるインペラのロック	弊社にて修理	
	水温の上昇	水温を下げる	
ポンプ性能の低下	ホース内のつまり、曲がりによる損失	ホース内の洗浄、曲がりを少なくする	
	空気を吸い込んでいる	水位を上げる	
	インペラの磨耗	インペラの交換	
	ポンプ内のつまり	ポンプ内の洗浄	
	ホース径が小さい、ホースが長い	ホース径を太くし、長さを短くする	

	注意	分解・修理は絶対にしないで下さい。 点検・修理は必ず弊社へご依頼下さい。
---	-----------	---

各部の名称と仕様



<仕様>

最大吐出量	220 L/min
電 圧	AC-100V
周 波 数	50Hz
定 格 電 流	7.8A
出 力	360W
消 費 電 力	720W
型 式	コンデンサランモーター
電源コード	5m
連続使用可能時間	8時間ただし、定期的に消耗パーツの点検が必要
残水水位目安	2cm
本 体 重 量	5.4kg

同梱品

1. 取扱説明書 (本書)	1	5. 詰まり防止ネット	2
2. RABARA シャンプーマシン	1	6. 注意書きシール	4
3. シャワーホース	1	7. 手元スイッチ	1
4. シャワーヘッド	1			

※ オプション品をご注文の際は同梱品が上記と異なっている場合がございます。必ずご確認ください。

ご使用になる前に

① 確認事項

1. 本製品の定格電圧は AC-100V です。電圧が異なると、ご使用になれませんのでご注意ください。
2. プラグは奥までしっかりと接続されていることを確認してご使用ください。

△ 注意 コンセント接続部は、絶対に水に濡らさないようにして下さい。

△ 注意 コンセントを外す際は、コードを持たず、プラグ部分を持って外してください。

3. 延長コードをご使用になる場合は、右記仕様のコードをご使用下さい。右記より細いコードを使用されますと、電圧降下による故障、異常発熱等が発生します。できるだけ、太いコードをご使用下さい。

延長コード太さ	長さ
1.25mm ²	15m 以内

ご使用になる前に

4. ポンプの移動の際は、ハンドル部分を持って下さい。また、設置をする時はロープなどをハンドルに結び付けて設置や引き上げを行って下さい。

△ 注意 電源コードやホースを引っ張ると、断線やホース抜けが発生します。

△ 警告 生き物が入っている水中では使用しないで下さい。感電の恐れがあります。別な容器に水を溜めるなど、生き物が入っている容器とポンプは分けて使用して下さい。

5. このポンプは 1日に8時間以内の運転設定としています。24時間連続運転を行いますとポンプ部とモーター部とのシール部分の摩擦・劣化が進行しやすく、故障の原因となります。
6. 電源コードやホースを持ってポンプを水中から引き上げないで下さい。電源コードを引っ張るとコードの破損による感電・火災の恐れがあります。

② 運転水位について

1. 本製品は水中ポンプです。水位は本体全部水没を推奨します。

△ 実行 ポンプを空気中で運転しないで下さい。故障の原因になります。

△ 注意 水位が浅い状態が長時間続くと、ポンプが高温になる恐れがあります。

2. 水位が本体の 1/3 以下になると、ポンプの吸引力により水面に「渦」が発生し、空気も同時に吸い込むことがあります。

③ 保護装置 (サーマルプロテクター) について

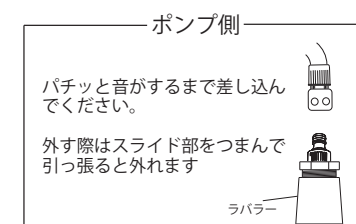
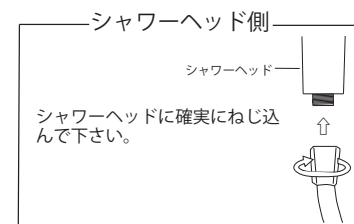
ポンプ内部にはモーターの保護の為、サーマルプロテクターが内蔵されています。何らかの原因で過負荷運転となり、モーターの温度が上昇した場合、自動的に停止しモーターの保護をします。(自動停止後にモーター内の温度が下がれば、自動復帰します。)このような状態が続いたまま運転を続けられますと、故障の原因となりますので、下記の点について点検をお願いします。点検の際は必ず電源プラグを電源から抜いて下さい。

- ・電源電圧が低下している。(取扱説明書に記載されている以外の延長コードを使用しますと電源電圧が低下します。P.3 1-3「ご使用になる前に」参照)
- ・比重の大きい液体、または粘度の高い液体を使用している。
- ・長時間の空気中運転 (空運転)。

△ 注意 ヘドロ状の液体には使用しないで下さい。ポンプの故障の原因になります。

④ ホースの取付方法

ホースの取り付けは確実にねじ込んで下さい。使用中に外れたり、水漏れの原因となります。



使用方法

1. プラグをしっかりとコンセントに差し込んで、スイッチが OFF になっており、ポンプが稼働していない事を確認してください。
ポンプを水没させた後にコンセントに接続しますと電源が入ってポンプが稼働する場合がございます。必ずコンセントに接続してからポンプを水中に沈めて下さい。
2. ポンプを水中に沈めて下さい。
電源コードやホースを持って行くと、断線やホース抜けが発生します。
ポンプのハンドルにロープなどを結び付け、ゆっくりと水中に入れて下さい。

注意

本製品は水中専用です。必ず本体を全部水没させ、垂直に立ててご使用ください。
空中等でポンプを動作させると、モーター部に負荷がかかり高温になり故障や怪我の原因となる恐れがあります。
(垂直とは P3「各部名称と仕様」の図の状態をさします。)

3. シャンプー希釈水を作るときは、あらかじめ水にシャンプーを適量入れよくかき混ぜてください。
シャンプー原液の溶け残りがございましてポンプ内に高濃度のシャンプーが残ってしまい、ポンプが詰まる原因となり、ポンプの寿命を縮める原因となります。
4. シャワーヘッドの先端が水に入らないようにして下さい。
ポンプ停止時に、ホースの先端が水面より高い位置の場合、水が逆流する恐れがあります。

注意

ホースの先端が水面よりも低い場所にある場合、ポンプ停止時にサイフォン現象により水が流出します。ポンプ停止時にはホースを水面より高い位置に置いて下さい。



5. 手元スイッチをカチッと音がなるまで押し込みますと電源が入ります。
電源を切る場合はもう一度押し込んでください。
6. シャワーヘッドの切替スイッチで水量・シャワー範囲が切り替えできます。(4パターン)
7. ポンプ運転中は空運転させないように水位に注意して下さい。
水が出なくなりましたら速やかにポンプを停止させて下さい。

注意

このポンプは1日約8時間の運転設定としており、累計約3000時間使用できますが、24時間連続運転には使用できません。
早期故障の原因となります。

注意

ポンプ運転中にホースを踏んだり、吐出側のバルブを急に締め切ったりすると、ポンプ破損の原因となりますのでご注意ください。

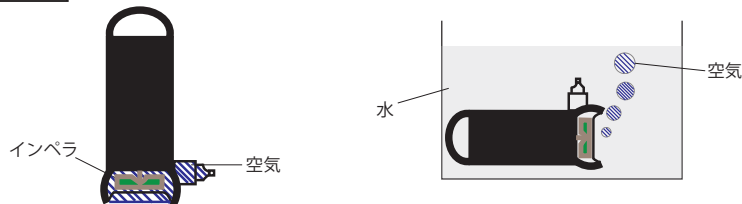


故障かな？と思った時

本製品をご使用中に水位が低くなるなどでポンプが空回りしてしまった場合、水が出なくなる場合がございます。その場合ポンプのインペラ部に空気がたまってしまい、水を吸引することができなくなっている状態が考えられます。

対処法

ポンプを稼働させながら、水中で本体を横倒しすることで復旧します。



安全上の注意

注意



電源コードや電源プラグが傷んでいないか、コンセントの緩みがないか、電源プラグやその周辺にほこりがついていないか、定期的に確認してください。
また、異常がある場合は使用しないでください。
火災・感電・ショートの原因になります。



電源コードを傷付けたり、加工や無理に曲げたり、引っ張ったりねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を乗せたり挟み込まないで下さい。
火災や感電の原因になります。



電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないで下さい。火災や感電の原因になります。



ご使用にならない時は必ず、電源プラグをコンセントから抜いてポンプを水中から出して下さい。絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。



動かなくなったり、異常のある場合は、直ちに電源プラグを抜いて弊社に点検修理をご依頼下さい。
そのまま使用されると感電・ショート・発火の原因となります。



ポンプ使用液温度は5℃以上40℃以下です。使用液温度外の清水または、汚水・海水・油・薬品等の液体には使用しないで下さい。
ポンプの破損につながります。



運転中の本体内部に手や指を入れないで下さい。
故障やケガの原因になります。



運転中は、本体に衝撃を与えないで下さい。また、運転中に移動させないで下さい。故障やケガの原因になります。



電源コードやホースを持ってポンプを水中から引き上げないで下さい。
電源コードを引っばったり加工しないでください。コードの破損による感電・火災の恐れがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。電源コードを引っばるとコードの破損による感電・火災の恐れがあります。



付属のシャワーヘッド以外は使用しないでください。
付属のシャワーヘッド以外を使用した場合、故障や怪我の原因になります。



同封の注意シールをポンプを使用される場所の良く見える所に貼り付けてください。



手元スイッチを足で踏まないでください。
故障やケガの原因になります。